

「プレジジョンがん医療」とは

がんは、細胞の中の遺伝子の変化が蓄積することで起こります。そのため、その遺伝子の変化(患者に特有)を詳細に調べることでその人特有の個別化治療の方法がわかります。

一つは、がんの遺伝子の変化に応じた最適な薬剤の組み合わせの選択が可能になるということ、もう一つは遺伝子の変化により生じた異常ペプチド(ネオ抗原)を標的にした免疫療法が可能になるということです。

この背景には、遺伝子を高速に安価に解析できる次世代高速シーケンサーの登場があります。プレジジョン医療は、がん治療のみではなく、血液や尿中のがん細胞由来の遺伝子変化を検出できることで、がんの早期診断やがんの再発の早期診断にも役立つことがわかりました。これによって医療費の削減にも寄与するとされています。

欧米では、2007年よりがんプレジジョン医療は開始されています。2015年のオバマ大統領の一般教書演説での、がんプレジジョン医療による「がんの治癒を目指したムーンショットプロジェクト」が計画され、がんプレジジョン医療は加速化しています。米国では、がんの遺伝子解析は保険適応となり、分子標的薬剤の適応を目的にしたプレジジョン医療は標準治療となっています。

日本では、2018年4月、厚生労働省はようやく、全国9大学病院と国立がん研究センターに対してがんプレジジョン医療の拠点を指定しました。プレジジョン医療の導入によって、ステージ4のがんでも治癒を目指す可能性があると言われています。我が国でも「プレジジョンがん医療」を加速化させる必要があるといえます。

がん治療 市民公開講座 「がんプレジジョン医療の幕開け」参加申込書

お申込みはTELまたはメールでも受け付けできますが、
できれば下記の**FAX 092-405-6376**でお願いします。

参加者1	会社名または団体名(なくても可)	
	お名前	住所(なくても可)
	TEL	メールアドレス

参加者2	会社名または団体名(なくても可)	
	お名前	住所(なくても可)
	TEL	メールアドレス

ご質問などがあれば御記入ください(多数の場合、お答えできないことがあります)

3名以上参加される場合は、この参加申込書をコピーしてお申し込みください。

情報のお取り扱いについて: 本講演会の円滑な運営のみに利用いたします。

お問い合わせ先: 福岡がん総合クリニック TEL 092-282-7696 FAX 092-405-6376

E-mail: info@cancer-clinic.jp